

令和 2 年度

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

事業計画及び収支予算書

公益財団法人 高知市文化振興事業団

目 次

■事業計画

はじめに	1
I 基本方針	1
II 事業計画	
1 自主文化事業計画	3
(1) 目標 1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」	
(2) 目標 2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」	
(3) 目標 3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」	
(4) 目標 4 すそ野を拓げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」	
(5) 情報発信等	
2 第72回高知市文化祭事業計画	5
(1) 活動支援事業	
(2) 文化祭開幕行事	
(3) 高知市展	
3 中央公民館事業計画	6
(1) 生涯学習講座事業	
(2) 第70回高知市夏季大学	
(3) 貸室事業	
4 横山隆一記念まんが館事業計画	7
(1) 企画展	
(2) 第16回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連記念事業	
(3) まんさいーこうちまんがフェスティバル2020	
(4) まんが体験イベント	
(5) 資料整理事業	
(6) その他	

■収支予算書

●収支予算書	9
(1) 収支予算書	
(2) 収支予算内訳表	
(3) 資金調達及び設備投資の見込み	
(4) 資金収支予算書	

令和2年度事業計画

はじめに

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、市民による芸術・文化の創造活動の日常化や文化の時代にふさわしい高知の文化活動の活性化を目指し、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぽーと開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担っている。

この間、芸術・文化を取り巻く状況が大きく変化したことから、平成26年に事業団設立30周年を迎えたことを契機として、新たな事業推進指針を定め、「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を基本理念と定めた。

令和2年度も、改訂高知市文化振興ビジョンとの整合性を図りながら、基本理念を踏まえ、次の基本方針によって自主文化事業、文化祭事業、中央公民館事業及びまんが館事業の効果的な展開を図るものとする。

I 基本方針

1 自主文化事業

事業推進指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、4つの目標(3～4 P参照)に沿って事業を実施し、市民が誇りを持って日常的に芸術・文化の創造活動に向き合える土壌づくりに取り組む。

各種事業の実施に当たっては、「芸術文化体験や創造活動によるまちづくりや地域づくり」も視野に入れるなど、改訂高知市文化振興ビジョンとの整合を図ることとし、学校や地域などへのアウトリーチ活動やワークショップ活動の一層の充実を図るとともに、事業団ならではのネットワークを活かして市民や学校教育との協働・連携を積極的に進める。

2 文化祭事業

各種文化団体や幅広い世代の市民に向けて作品発表や公演機会を提供し、市民による文化活動を支援するとともに、芸術文化の鑑賞の機会を創造し、高知市文化祭の一層の充実と振興を図る。

3 中央公民館事業

中央公民館の運営による多彩な生涯学習活動の場を提供することを通じて、市民による自発的な地域の活性化に結び付く取組を進める。

各種の生涯学習講座については、近年漸減傾向にある受講者数に歯止めをかけるために、令和元年度に策定中の『生涯学習講座活性化計画』に基づき、各講座の実情に応じた取組を進めていく。

各種学習室の貸室については、平成30年度に策定した『貸室利用促進プラン』に基づいて実施された取組を検証しながら、学習室全般の貸室利用のさらなる促進に取り組むものとする。

4 まんが館事業

まんが館事業については、平成30年度末に策定した「横山隆一記念まんが館活性化計画～『高知市文化振興ビジョン』の改訂を契機として～」に基づいて、令和元年度中に、まんが館収蔵資料のうち、ライブラリー図書を含む書籍情報のネット公開を実現した。活性化計画に記載した取組の中には、財政状況が厳しい中では着手困難なものもあり、実現可能なものから順次取り組んでいくこととし、令和2年度は隆一関連の資料を中心に情報公開を進めるとともに、全国の他施設からの収蔵資料の利用依頼に対応できるような仕組みを作り、横山隆一のさらなる周知を図る。

今年度の企画展は、隆一関連の展覧会を開催するほか、高知出身まんが家を紹介する展示と、民間企業との共催によるふたつの企画展を開催する。

こうした取組を通じて、高知県や民間団体と協働してまんが文化の活性化を進め、「まんが王国土佐」の確立・強化に努める。

Ⅱ 事業計画

1 自主文化事業計画

改訂高知市文化振興ビジョンの「文化振興の具体的な進め方」との相関性を図りながら、事業推進指針に掲げた基本理念を実現するための次の4つの目標に基づき、話題性や多様性のあるプログラムの提供を行っていく。

(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

市民や関係団体などの協働と連携によって、そのパートナーの活動を尊重しながらサポートし合い、「文化の協働と連携」を推進するとともに、創造活動を通じて子ども達から幅広い世代へ社会参加を促す事業を実施する。

キッズフリーマーケット2020	2. 7. 5(日)
子どもだけのフリーマーケットを通して経済活動や人とのコミュニケーションを学んでもらうプログラム。企画・運営に一般企業も携わり、社会貢献事業の取組をアピールする。協賛・協力:株式会社高知銀行・金高堂書店(予定)	
とさつ子タウン2020	2. 8. 22(土)・23(日)
とさつ子タウン実行委員会との協働事業。小学4年生から中学3年生を対象に仮想のまちで仕事を覚え、働き、学び、楽しみながら政治参加や納税などの社会の仕組みを学ぶプログラム。共催:とさつ子タウン実行委員会・NPO高知市民会議・高知市市民活動サポートセンター	
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭	2. 9. 20(日)
市内の中心市街地活性化等を目的に開催する県下最大規模の音楽イベント。県内外から約120組が参加、市内約10箇所演奏する予定。共催:高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会	

(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

地域の「幸福度」は足元の豊かさに気づくことから高められることから、高知に紡がれてきた美術、映像、まんが、文芸作品などの有形、無形の文化資産を継承するとともに、高知ならではの文化を創造し発信するため、地域や中央で活躍するアーティストとともに作品を創り上げる事業等を実施する。

第37回写真コンテスト・高知を撮る	2. 12募集開始
過去から現在に至るまでの高知県内の出来事や風景、人々の暮らしを写真で記録し、高知の様々な表情を伝えるとともに、未来の高知のあるべき姿を考える。出品作品を審査の上、令和3年3月16日から21日まで市民ギャラリーで入選作品展を実施予定。	
第31回高知出版学術賞	2. 12. 10(木)募集開始
当該年における最もすぐれた学術出版を顕彰することによって、学術研究の振興を図り、県勢の進展に資することを目的とする。令和3年3月に受賞作品を発表。	
Kochi Art Messe Vol.3	3. 1. 21(木)～27(水)
若手作家の公募作品の展示と販売を行う、美術の「見本市」のような企画展を開催。作家を紹介する場であり、美術の楽しみ方を提案する場でもある。そうした機会を提供することによって、若手作家の意欲を高め成長につなげるとともに、美術ファンを増やす取組として、将来の高知の美術の活性化を目指す。	
針山愛美プロデュース ニューイヤー・バレエ・トリプルビル	3. 1. 23(土)・24(日)
中央で活躍するバレエダンサー兼指導者の針山愛美(はりやま えみ)が監修するバレエ公演。県内外のバレエ団体に声掛けし出演者オーディションを実施。針山氏が審査・振付を行う。その後、何回か来高し、レッスン・指導をしながら作品を創り上げる。県内バレエ会の底上げと普及や交流、切磋琢磨を促し、さらなる発展に寄与する。協力:高知県バレエ協会(予定)	

アーティストバンク	通年
地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報などを広く発信することで、市民とアーティストをつなぐとともに、アーティストの活動を支援する役割も果たす。	

(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

文化に親しむきっかけづくりとしての事業や、新たな鑑賞者の育成、芸術文化活動の担い手を育てるための人材育成事業を実施する。

劇団TRASHMASTERS 埋没	2. 10. 21(水)・22(木)
大川村のダム建設をめぐる実話を基に脚本された作品「埋没」。作・演出の中津留氏が、大川村に足を運び、取材した上で創り上げた作品は、県民にとって非常に感慨深い内容である。徳島県阿南市情報文化センター→高知市文化プラザかるぼーと→愛媛県新居浜市あかがねミュージアムと四国ツアーを予定。大川村でのワークショップも実施予定。 助成：劇場・音楽堂等ネットワーク強化事業(申請中)	
第9回高知の音楽活性化事業 泉真由×松田弦コンサート	2. 12. 5(土)
アーティストが高知に数日間滞在し、ホールでのコンサートと地域交流プログラム(アウトリーチ)を行う。リラックスした雰囲気の中で音楽を楽しんでもらい、舞台と客席との関係を超えたアーティストとの触れ合いが新鮮な感動をもたらす。今回は、地域創造登録アーティストで、共に高知県出身の泉真由(フルート)と松田弦(ギター)が出演。 助成：地域創造公共ホール音楽活性化支援事業	
劇団四季 こころの劇場公演	3. 2. 9(火)・10(水)
劇団四季、舞台芸術センターとの共同主催事業として行う市内の小学6年生を無料招待する公演。子どもたちに「命の尊さ」「信じあう喜び」「人を思いやる心」など、生きていく上で大切なことを舞台芸術を通して語りかける。教育委員会との連携事業。 共催：劇団四季、一般財団法人舞台芸術センター	
桂九雀・桂文我 落語公演	3. 3. 14(日)
平成30年度に来高した桂九雀と、子ども向けの落語に定評のある桂文我による落語公演。お囃子、岡野鏡。参加者を事前に公募しワークショップも開催予定。 助成：文化庁芸術文化振興基金(申請中)	

(4) 目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

さまざまな層の市民に対して優れた芸術・文化の鑑賞機会を幅広く提供し、鑑賞者を育成するとともに、芸術・文化を理解する市民のすそ野を広げる事業を実施する。

山村誠ーミュージックショー ～祝☆還暦～	2. 5. 1(金)
関西を代表するスティーロパン奏者山村誠一の半生を辿る音楽コンサート。ゲストに、押尾コータロー、有山じゅんじのギタリスト2名、スティーロパン楽団高知カリビアン・ハーツらを迎える。高知公演の後、5/30に大阪公演も予定。	
プラハ・チェロ・カルテット 日本ツアー高知公演	2. 7. 7(火)
YouTube上で配信されているオフィシャル動画「オペラ座の怪人」は、再生回数が1,900万回を超える、プラハ音楽アカデミーで学んだ人気急上昇中の4人の凄腕たちによるユニークなチェロ四重奏団「プラハ・チェロ・カルテット」。クラシックの定番からジャズ、ポップス、映画音楽に至るまで多数のレパートリーを持っている。 助成：アサヒグループ芸術文化財団、日本音楽財団(共に申請中)	
神保彰 ワンマンオーケストラライブ	2. 9. 12(土)
1980年にカシオペアでプロデビューして以来、常に音楽シーンの最先端を走り続けるトップドラマー。ドラムをたたくと同時にメロディーも奏でるミディードラムトリガーシステムを駆使し、「ワンマンオーケストラ」とでもいうべき独自の演奏スタイルで、2007年にはニューズウィークの特集「世界が尊敬する日本人100人」に選出された。 助成：宝くじコミュニティ助成申請(申請中)	
トーマス・オスターマイヤー演出「人形の家」	2. 9. 18(金)
東京芸術劇場30周年記念事業。ドイツを代表する演出家トーマス・オスターマイヤーを迎え、イブセンの名作「人形の家」を上演。出演者は、内野聖陽、深津絵里、成河、富士誠治、伊勢佳代、土井ケイト、子役4人。東京→静岡→豊橋→高知→兵庫をまわるツアーを計画中。共催：KUTVテレビ高知(予定)	

(5) 情報発信等

機関誌『文化高知』や年間行事案内の発行、高知市広報『あかるいまち』や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事などを通して、かるぽーとや事業団の情報提供や文化事業の従来の周知活動に努めながら、平成29年度に立ち上げたフェイスブックに加え、令和元年度から始めたツイッターとインスタグラム、新たに作成した事業団のホームページを活用して、令和2年度はインターネット上でのPRをさらに強化していく。

また、これによりサポーターズクラブ「Cu1ちやーず」の会員増に努める。

2 第72回高知市文化祭事業計画（受託事業）

市民文化の発展のために市民文化団体の自発的な活動がより活性化することを目的とし、各分野の市民文化団体との協働・連携を深めながら、以下の3事業に取り組む。

(1) 活動支援事業

高知市文化祭に参加するコンサートや舞踊、演劇、展示会等の様々なジャンルの文化行事の開催を支援するため助成金を交付する。支援内容を幅広い世代の市民に周知し、これまで以上に若年層の文化活動への支援を拡大することで、文化祭の若返りと活性化を目指す。

(2) 高知市展

5月23日（土）から6月7日（日）の会期でアンデパンダン（公募・無審査）方式により実施する10部門の総合美術展。関連イベントとして、5月31日（日）に小中学生を対象とした「こどもアートまつり あなたダビンチ ぼくピカソ」を開催する。

市展の会期前・会期中に各部門の講習会・研究会を行い、初心者体験の機会や出品者の研鑽の場を提供する。姉妹都市である北海道北見市から招待した作品も展示し、秋には北見市で行われる美術展に市展の作品を出品する。

3 中央公民館事業計画（受託事業）

これまでの事業を継続しながら、教育委員会と綿密に連携をとり、事業の円滑な推進や事業内容の質的向上に努める。

(1) 生涯学習講座事業

市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応しつつ、社会教育、生涯学習に求められるものを把握し、各種講座では現代的課題に即したテーマを扱うことによって、多様な学習機会の提供に努める。

また、令和元年度に策定中の「生涯学習講座活性化計画」に基づいて、受講者数の増加に向けて着手可能なものから順次取り組む。

講 座 名
市民学校（春・秋・年末特別・作品展）
市民講座（初夏・秋冬）
いきいきセカンド☆ライフ講座（前後期各3コース）
高知市民の大学（87期・88期、各2コース）
市民映画会（3回）
高知市民頭脳スポーツ大会（5競技）

(2) 第70回高知市夏季大学

7月14日（火）から7月25日（土）の日・月曜日を除く10日間、開講する。

政治・経済・世界情勢・文化等の幅広い分野から、市民の関心や話題性が高く知名度のある講師を招き、入場者数の増加を図る。

また、現代社会のさまざまな課題について市民に学び考える機会を提供する。

(3) 貸室事業

平成30年度に策定した「貸室利用促進プラン」に沿って、令和元年度に取り組んだ項目についてその効果を検証し、新たにまちゼミへの参加等による貸室事業の周知の強化を図り、稼働率の上昇を目指す。

4 横山隆一記念まんが館事業計画(受託事業)

まんが館は、横山隆一の業績を広く顕彰するとともに、高知のまんが文化を継承することによって市民文化の振興に寄与することを目的としている。この目的を実現するため、隆一作品の展示及び資料整理を行うとともに、様々なプログラムにより、市民がまんが文化に親しみ、ユーモア精神に触れ、ゆとりと交流を楽しみながら、知的・創造的な刺激を受ける場を提供するため、以下の事業を行う。

これらの取組にあたっては、平成30年度に策定した「横山隆一記念まんが館活性化計画」に基づいて、隆一関連の資料を中心に情報公開を進めるとともに、全国の他施設からの収蔵資料の利用依頼に対応できるような仕組みを作り、横山隆一のさらなる周知を図る。

(1) 企画展

高知出身のまんが家を紹介する企画として左古文男氏を取り上げ、妖怪画他の原画を展示する。また、隆一関連として戦前から戦中にかけて朝日新聞に掲載された「フクちゃん」に焦点を当てた企画展を開催し、同時に、関連資料の点検・整理・作品等リストの確認等を行う。

また、今年も民間企業との共催事業として「酒井敦美 光の切り絵展」を開催し、そのほか秋にも事業を実施する。

テレビ高知共催企画展 「酒井敦美 光の切り絵展～いつもはじまり～」	2. 4. 24(金)～ 7. 5(日)
光の切り絵作家・酒井敦美の作品展。高知の自然をテーマに作られた作品や、光の当て方で1枚の絵が2つの表情に変化する「一面二驚～いちがにきょう～」という切り絵作品、光の絵の中に入って自分が作品の一部となる作品などを展示する。	
左古文男「クセがつよい妖怪展」	2. 7. 18(土)～ 9. 6(日)
高知県出身のまんが家・左古文男氏の妖怪画を中心にした企画展を開催する。関連資料について高知県立歴史民俗資料館の協力を仰ぐ他、妖怪文化研究家・木下昌美氏、まんが家・やくみつる氏と左古氏により妖怪文化について鼎談を行う。	
テレビ高知共催企画展(予定)	2. 9月～11月
詳細未定	
「朝日新聞のフクちゃん展」(仮)	3. 1月～ 2月
昭和11年10月から昭和19年3月まで朝日新聞に掲載されたフクちゃんの原画を中心に展示。暗い世相の中で求められた、フクちゃんの素朴さと明るさを、時代背景と併せて紹介する。	
「まんが・漫画・マンガ展! 2021」	3. 3月
高知漫画集団、高知漫画グループくじらの会など高知在住セミプロのまんが家グループを中心に、県内の学生など、地元でまんがを描いている人たちへの発表の機会を提供し、まんがの裾野をひろげ、各作家の地力向上を支援する。	

(2) 第16回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連記念事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから、全国でも珍しい4コマまんがに限定したまんが賞を平成17年度に創設。本年度で16回目の開催。まんが王国・土佐を広くアピールし、まんがの原点である4コマまんがの普及に努める。

作品募集	募集期間:2. 4. 10(金)～ 9. 8(火)予定
ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門での募集を行う。	
表彰式	2. 11. 7(土)あるいは11. 8(日)
「まんさいーこうちまんがフェスティバル2020」で行う予定	
4コマまんが大賞作品の展示	2. 12月～
入賞作品や1次審査通過作品を「4コマまんが大賞作品展」として展示。	

(3) まんさいーこうちまんがフェスティバル2020

まんさいーこうちまんがフェスティバル2020	2.11. 7(土)・8(日)
市民参加型の実行委員会が中心となり企画・運営を行う「まんさいーこうちまんがフェスティバル2020」を開催する。11月3日の「まんがの日」にちなんで、子どもから大人まで、「みる・かく・あそぶ」をテーマとしたまんが・アニメの祭典で、今年で18回目となる。まんがグッズづくりや声優トークショーなど、さまざまなコーナーを展開。 また、高知市が定めた「まんさい」の事業目的～「まんが文化を活用した中心市街地の活性化」を考慮し、中心商店街の活性化に寄与するイベントなども実施する。	

(4) まんが体験イベント

子どもたちにまんがに親しんでもらうため、まんがを用いて工作する機会を提供する体験イベントを夏休みやクリスマス前に行い、まんが文化の担い手を育てる。講師は地元まんが家などに依頼する。

(5) 資料整理事業

まんが館保管資料のうち、収蔵品管理システム入力済みの横山隆一関係資料について令和2年度中に公開する。さらに未整理資料の収蔵管理システムへのデータ入力作業を進め、収蔵資料全体の段階的なネット公開を目指す。また、通常業務として新聞の切り抜き・チラシ・パンフ等まんが関連資料の整理・保存を行うほか、必要に応じた資料修復、保存環境の整備に努める。

(6) その他

- ① 館報「FUKU-FUKU」と年報の発行。
- ② ホームページ、高知市や事業団広報枠の活用及び各情報誌等での広報活動の他、まんが館事業の情報発信を図るため文化・観光施設等とも連携を図る。
(高知お城下文化施設の会、こうちミュージアムネットワーク他)
- ③ ライブラリーの特設コーナーを時々の話題に応じて企画・展開する。
- ④ 来館者増につながる観光イベントへの積極的な参加。
- ⑤ まんが文化に関する講演・講座依頼等への対応。
- ⑥ 学芸員実習生等の受け入れに適宜対応。
- ⑦ 他の自治体や博物館施設等への所蔵資料の貸出対応。

収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,000	0
基本財産運用利息	2,000	2,000	0
事業収益	157,857,000	155,141,000	2,716,000
文化事業収益	12,201,000	11,718,000	483,000
文化事業収益	11,401,000	10,918,000	483,000
まんが館事業収益	410,000	410,000	0
会費収益	240,000	240,000	0
出版物売払収益	150,000	150,000	0
文化事業受託収益	145,656,000	143,423,000	2,233,000
高知市文化祭事業受託収益	7,187,000	7,109,000	78,000
中央公民館事業受託収益	53,327,000	52,339,000	988,000
まんが館事業受託収益	44,986,000	42,554,000	2,432,000
運営管理受託収益	40,156,000	41,421,000	-1,265,000
受取補助金等	64,605,000	64,601,000	4,000
受取地方公共団体補助金	57,965,000	62,371,000	-4,406,000
財団管理運営補助金	5,054,000	5,055,000	-1,000
文化事業補助金	42,954,000	47,362,000	-4,408,000
文化活動等助成事業補助金	9,957,000	9,954,000	3,000
受取民間助成金	6,640,000	2,230,000	4,410,000
事業助成金	6,640,000	2,230,000	4,410,000
受取寄付金	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	0
雑収益	1,386,000	2,126,000	-740,000
雑収益	1,386,000	2,126,000	-740,000
運営管理事業雑収益	41,000	63,000	-22,000
中央公民館実習材料販売等雑収益	1,282,000	2,000,000	-718,000
まんが館事業雑収益	63,000	63,000	0
経常収益計	223,860,000	221,880,000	1,980,000

収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A-B)
(2) 経常費用			
事業費	217,672,000	215,831,000	1,841,000
役員報酬	2,141,000	1,911,000	230,000
給料	61,421,000	47,891,000	13,530,000
手当	36,088,000	33,250,000	2,838,000
賃金	0	15,309,000	-15,309,000
福利厚生費	21,260,000	20,821,000	439,000
食糧費	643,000	482,000	161,000
旅費交通費	6,132,000	5,088,000	1,044,000
通信運搬費	2,418,000	1,930,000	488,000
減価償却費	423,000	654,000	-231,000
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	3,393,000	3,079,000	314,000
修繕費	206,000	300,000	-94,000
印刷製本費	3,634,000	3,550,000	84,000
燃料費	106,000	106,000	0
賃借料	7,233,000	7,937,000	-704,000
広告宣伝費	1,239,000	725,000	514,000
保険料	408,000	408,000	0
委託費	37,054,000	39,561,000	-2,507,000
諸謝金	17,397,000	17,125,000	272,000
租税公課	9,025,000	7,422,000	1,603,000
負担金	6,756,000	6,847,000	-91,000
雑費	695,000	1,435,000	-740,000
管理費	6,275,000	6,389,000	-114,000
役員報酬	3,241,000	3,240,000	1,000
給料	571,000	484,000	87,000
手当	913,000	912,000	1,000
賃金	0	96,000	-96,000
福利厚生費	1,046,000	1,079,000	-33,000
食糧費	0	0	0
通信運搬費	60,000	60,000	0
減価償却費	0	4,000	-4,000
消耗品費	69,000	65,000	4,000
修繕費	4,000	10,000	-6,000
印刷製本費	12,000	10,000	2,000
燃料費	4,000	4,000	0
賃借料	65,000	61,000	4,000
広告宣伝費	0	0	0
保険料	100,000	94,000	6,000
委託費	105,000	181,000	-76,000
諸謝金	9,000	9,000	0
租税公課	3,000	5,000	-2,000
負担金	69,000	69,000	0
雑費	4,000	6,000	-2,000
経常費用計	223,947,000	222,220,000	1,727,000
当期経常増減額	-87,000	-340,000	253,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-87,000	-340,000	253,000
一般正味財産期首残高	43,609,042	42,835,444	773,598
一般正味財産期末残高	43,522,042	42,495,444	1,026,598
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	53,522,042	52,495,444	1,026,598

収支予算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科	目	公益目的事業	法人会計	合計
I	一般正味財産増減の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	2,000	2,000
	基本財産受取利息	0	2,000	2,000
	基本財産受取利息	0	2,000	2,000
	事業収益	156,636,000	1,221,000	157,857,000
	文化事業収益	11,233,000	968,000	12,201,000
	文化事業収益	10,433,000	968,000	11,401,000
	まんが館事業収益	410,000	0	410,000
	会費収益	240,000	0	240,000
	出版物売払収益	150,000	0	150,000
	文化事業受託収益	145,403,000	253,000	145,656,000
	高知市文化祭事業受託収益	7,187,000	0	7,187,000
	中央公民館事業受託収益	53,327,000	0	53,327,000
	まんが館事業受託収益	44,986,000	0	44,986,000
	運営受託収益	39,903,000	253,000	40,156,000
	受取補助金等	59,551,000	5,054,000	64,605,000
	受取地方公共団体補助金	52,911,000	5,054,000	57,965,000
	財団管理運営補助金	0	5,054,000	5,054,000
	文化事業補助金	42,954,000	0	42,954,000
	文化活動等助成事業補助金	9,957,000	0	9,957,000
	受取民間助成金	6,640,000	0	6,640,000
	事業助成金	6,640,000	0	6,640,000
	受取寄付金	0	10,000	10,000
	文化事業寄付金	0	10,000	10,000
	文化事業寄付金	0	10,000	10,000
	雑収益	1,383,000	3,000	1,386,000
	雑収益	1,383,000	3,000	1,386,000
	運営事業雑収益	38,000	3,000	41,000
	中央公民館実習材料販売等雑収益	1,282,000	0	1,282,000
	まんが館事業雑収益	63,000	0	63,000
	経常収益計	217,570,000	6,290,000	223,860,000

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	217,672,000	0	217,672,000
役員報酬	2,141,000	0	2,141,000
給料	61,421,000	0	61,421,000
手当	36,088,000	0	36,088,000
賃金	0	0	0
福利厚生費	21,260,000	0	21,260,000
食糧費	643,000	0	643,000
旅費交通費	6,132,000	0	6,132,000
通信運搬費	2,418,000	0	2,418,000
減価償却費	423,000	0	423,000
消耗品費	3,393,000	0	3,393,000
修繕費	206,000	0	206,000
印刷製本費	3,634,000	0	3,634,000
燃料費	106,000	0	106,000
賃借料	7,233,000	0	7,233,000
広告宣伝費	1,239,000	0	1,239,000
保険料	408,000	0	408,000
委託費	37,054,000	0	37,054,000
諸謝金	17,397,000	0	17,397,000
租税公課	9,025,000	0	9,025,000
負担金	6,756,000	0	6,756,000
雑費	695,000	0	695,000
管理費	0	6,275,000	6,275,000
役員報酬	0	3,241,000	3,241,000
給料	0	571,000	571,000
手当	0	913,000	913,000
賃金	0	0	0
福利厚生費	0	1,046,000	1,046,000
通信運搬費	0	60,000	60,000
減価償却費	0	0	0
消耗品費	0	69,000	69,000
修繕費	0	4,000	4,000
印刷製本費	0	12,000	12,000
燃料費	0	4,000	4,000
賃借料	0	65,000	65,000
広告宣伝費	0	0	0
保険料	0	100,000	100,000
委託費	0	105,000	105,000
諸謝金	0	9,000	9,000
租税公課	0	3,000	3,000
負担金	0	69,000	69,000
雑費	0	4,000	4,000
経常費用計	217,672,000	6,275,000	223,947,000
当期経常増減額	-102,000	15,000	-87,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			-87,000
一般正味財産期首残高			43,609,042
一般正味財産期末残高			43,522,042
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	10,000,000
III 正味財産期末残高			53,522,042

資金調達及び設備投資の見込みについて
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

期中に借入入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以 上

資金収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A-B)	備 考
1 基本財産運用収入	2,000	2,000	0	
1 基本財産運用収入	2,000	2,000	0	
1 基本財産利息	2,000	2,000	0	
2 事業収入	157,957,000	155,241,000	2,716,000	
1 文化事業収入	12,201,000	11,718,000	483,000	
1 文化事業収入	11,401,000	10,918,000	483,000	
2 まんが館事業収入	410,000	410,000	0	
3 会費収入	240,000	240,000	0	
4 出版物売払収入	150,000	150,000	0	
2 文化事業受託収入	145,756,000	143,523,000	2,233,000	
1 高知市文化祭事業受託収入	7,187,000	7,109,000	78,000	
2 中央公民館事業受託収入	53,327,000	52,339,000	988,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	44,986,000	42,554,000	2,432,000	〃
4 運営受託収入	40,256,000	41,521,000	-1,265,000	〃
3 補助金収入	64,605,000	64,601,000	4,000	
1 地方公共団体補助金収入	57,965,000	62,371,000	-4,406,000	
1 財団管理運営補助金収入	5,054,000	5,055,000	-1,000	〃
2 文化事業補助金収入	42,954,000	47,362,000	-4,408,000	〃
3 文化活動等助成事業補助金収入	9,957,000	9,954,000	3,000	〃
2 民間助成金収入	6,640,000	2,230,000	4,410,000	
1 事業助成金	6,640,000	2,230,000	4,410,000	
4 寄付金収入	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
5 雑収入	1,386,000	2,126,000	-740,000	
1 雑収入	1,386,000	2,126,000	-740,000	
1 運営管理事業雑収入	41,000	63,000	-22,000	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	1,282,000	2,000,000	-718,000	
3 まんが館事業雑収入	63,000	63,000	0	
当期収入合計 (A)	223,960,000	221,980,000	1,980,000	
前期繰越収支差額	21,887,529	21,089,374	798,155	
合 計 (B)	245,847,529	243,069,374	2,778,155	

資金収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A-B)	備 考
1 事業費支出	217,207,000	215,115,000	2,092,000	
役員報酬支出	2,141,000	1,911,000	230,000	
給料支出	61,421,000	47,891,000	13,530,000	
手当支出	36,088,000	33,250,000	2,838,000	
賃金支出	0	15,309,000	-15,309,000	
福利厚生費支出	21,260,000	20,821,000	439,000	
食糧費支出	643,000	482,000	161,000	
旅費交通費支出	6,132,000	5,088,000	1,044,000	
通信運搬費支出	2,418,000	1,930,000	488,000	
消耗品費支出	3,393,000	3,059,000	334,000	
修繕費支出	206,000	300,000	-94,000	
印刷製本費支出	3,592,000	3,508,000	84,000	
燃料費支出	106,000	106,000	0	
賃借料支出	7,233,000	7,937,000	-704,000	
広告宣伝費支出	1,239,000	725,000	514,000	
保険料支出	408,000	408,000	0	
委託費支出	37,054,000	39,561,000	-2,507,000	
諸謝金支出	17,397,000	17,125,000	272,000	
租税公課支出	9,025,000	7,422,000	1,603,000	
負担金支出	6,756,000	6,847,000	-91,000	
雑費支出	695,000	1,435,000	-740,000	
2 管理費支出	6,275,000	6,385,000	-110,000	
役員報酬支出	3,241,000	3,240,000	1,000	
給料支出	571,000	484,000	87,000	
手当支出	913,000	912,000	1,000	
賃金支出	0	96,000	-96,000	
福利厚生費支出	1,046,000	1,079,000	-33,000	
食糧費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	60,000	60,000	0	
消耗品費支出	69,000	65,000	4,000	
修繕費支出	4,000	10,000	-6,000	
印刷製本費支出	12,000	10,000	2,000	
燃料費支出	4,000	4,000	0	
賃借料支出	65,000	61,000	4,000	
広告宣伝費支出	0	0	0	
保険料支出	100,000	94,000	6,000	
委託費支出	105,000	181,000	-76,000	
諸謝金支出	9,000	9,000	0	
租税公課支出	3,000	5,000	-2,000	
負担金支出	69,000	69,000	0	
雑費支出	4,000	6,000	-2,000	
3 予備費支出	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	0	
当期支出合計 (C)	223,582,000	221,600,000	1,982,000	
当期収支差額 (A)-(C)	378,000	380,000	-2,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	22,265,529	21,469,374	796,155	